

平成28年度第2回兵庫県入札監視委員会会議 議事概要

開催日及び場所	平成28年11月15日(火)兵庫県立ひょうご女性交流館 501会議室		
委員	泉水 文雄 (神戸大学大学院法学研究科教授) 小西 庸夫 (元兵庫県代表監査委員) 池田 千鶴 (神戸大学大学院法学研究科教授) 大搦 幸男 (弁護士) 細川 明子 (公認会計士)		
対象期間	平成28年4月1日から平成28年7月31日まで		
事務局報告 平成28年度第1回兵庫県入札監視委員会会議の議事概要について			
議案1 入札及び契約手続の運用状況等に係る報告等について			
対象工事の件数	383件	対象期間中の指名停止件数	5件
対象工事の契約金額合計	14,512,119千円	対象期間中の資格制限件数	0件
対象工事の平均落札率	87.9%	対象工事：対象期間中に契約締結した契約予定金額250万円超の工事	
議案2 抽出した工事に係る入札及び契約手続に係る審議について			
抽出案件の総数		5件	
うち	一般競争入札	1件	
	公募型一般競争入札	2件	
	制限付き一般競争入札	1件	
	指名競争入札	1件	
	随意契約	1件	
委員からの質問・意見及びそれに対する回答	質問・意見	回答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	無し		

No.	質 問 ・ 意 見	回 答
1	<p>事務局報告 平成28年度第1回兵庫県入札監視委員会会議の議事概要について</p>	
2	<p>議題 議案1 入札及び契約手続の運用状況等に係る報告等について (平成28年4月1日から平成28年7月31日までの入札・契約状況) ・総価契約単価取決方式の案件が多く見られるが、対象工事が増えているのか。</p>	<p>・年度当初に年間見込みで契約するため、この時期に入札が多く執行される。</p>
3	<p>議案2 抽出した工事に係る入札及び契約手続に係る審議について (1) 公募型一般競争入札 ア 淡路県民局（洲本土木事務所）発注 志筑川水系志筑川河川改修工事（上流工区） ・無効となった業者がいるが、理由は何か。</p> <p>・総合評価案件にしては落札率が低い、理由は何が考えられるか。</p> <p>イ 企業庁（猪名川広域水道事務所）発注 ろ過池設備改修工事 ・北摂広域水道事務所発注の同種工事を同じ業者が低落札率で落札しているが、当該工事との違いは何か。</p> <p>・1者応札となっている理由は何か。</p>	<p>・当該案件については、総合評価落札方式を採用しており、総合評価落札方式の評価では若手技術者を配置予定技術者とする事で加点されるため、当該業者は、専任補助者（現場代理人）の施工実績で入札参加資格要件を満たすと思込み、若手技術者を配置予定技術者としていた。</p> <p>しかし、開札後に行う入札参加資格審査の結果、当該若手技術者にはスラリー系機械攪拌混合処理法による地盤改良の施工実績がなく、入札参加資格要件を満たしていないことが判明したためである。</p> <p>・ブロック積護岸のような単純で利益の生み出しやすい工事が含まれているため、競争が激しかったものと思われる。</p> <p>・当該案件については、4つのろ過池の改修であるが、北摂広域水道事務所の案件は2つのろ過池の改修のほか、弁の取替えもあり、規模や工事内容が異なっている。</p> <p>・ろ過池は一体化した装置であり、改修後に不具合が生じた場合の責任の所在が不明確になり、問題が発生することを懸念し、当初施工業者以外の者は、敬遠したものと思われる。</p>

<p>(2) 制限付き一般競争入札  ア 神戸県民センター（六甲治山事務所）発注  復旧治山事業（28K第9号）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・失格や辞退の理由は何か。また、辞退者はどのタイミングで辞退しているのか。</li> </ul> <p>・結果的に1者応札となっており、総合評価落札方式を採用した意味がないのではないか。</p> <p>・契約相手方には、総合評価における技術評価点が低い項目もあるが、どのように考えているのか。</p> <p>・総合評価による加算点のウエイトは10%であるが、もっと幅の大きな自治体もある。この幅について、どのように考えているのか。</p> <p>(3) 指名競争入札  ア 教育委員会（県立鳴尾高等学校）発注  県立鳴尾高等学校体育館天井改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変更契約で減額しているが、理由は何か。</li> </ul> <p>・高額に応札者がいるが、予定価格を事前公表しているのか。</p> <p>・標準範囲業者と特例範囲業者との違いは何か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・失格者については、配置予定技術者が急病で配置できなくなったためである。</li> <li>・辞退者については、入札参加申込みを行ったものの、応札がなかったものである。</li> <li>・辞退の理由は、施工箇所が国立公園内にあるため仮設道路が設置できず、急斜面の現場にロープウェイのような索道を設置して資材を搬入する必要があることや、近隣の別荘地との調整が必要であるなど、現場条件が厳しいことから敬遠されたものと思われる。</li> <li>・契約予定金額が7,000万円以上の工事については、施工能力評価型で実施することになっているためである。</li> <li>・総合評価の施工能力評価の評価項目「企業の施工能力」に比べて他の評価項目の点数が低いが、入札参加資格要件を満たしているので、契約の相手方とした。</li> <li>・当該案件については、施工能力評価型であるが、施工計画評価型では加算点のウエイトは15%である。</li> <li>・総合評価落札方式における価格が2位以下の者が落札する逆転現象の発生率については、概ね60%程度となっており、比較的加算点が重視されており、施工の品質が向上していると分析している。</li> <li>・価格と加算点のバランスに配慮しながら、制度設計を行っている。</li> <li>・契約相手方からの提案による足場種別の変更、交通誘導員の設置日数の短縮等によるものである。</li> <li>・予定価格の事前公表については、行っていない。学校敷地内での工事であるので、施工ヤードの確保や作業時間の制約が多いことを想定し、高く見積もったものと思われる。</li> <li>・特例範囲業者については、社会貢献評価数値や平均工事成績により、各等級の標準範囲より広い範囲で入札に参加することができる業者のことである。</li> </ul>
--	--

<p>(4) 随意契約</p> <p>ア 阪神南県民センター（尼崎港管理事務所） 発注 東川水系東川東川排水機場 東川排水機場4号原動機整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・随意契約にしては落札率が低いが、理由は何か。</li> <li>・以前から随意契約しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接工事費については、業者から見積りを取っているため、諸経費の考え方の違いと思われる。</li> <li>・以前は入札を実施していたが、機械設備工事や電気設備工事等については、特定の業者（1者）の応札しかない事例が多い。そのため、最近は事務処理の軽減のため、1者しか応札者が見込めない案件については特命随契としている。</li> </ul>
<p>その他：政府調達に関する苦情処理及び建設工事に係る再苦情処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の対象期間にはなかった旨、事務局から報告した。</li> </ul>	